

【 第8回 男子ユース世界選手権 】

2019年8月6日～8月18日 開催地:北マケドニア

試合結果報告 8月14日 (水)

JAPAN	vs	アイスランド
13	1st	16
21	2nd	23
	ex	
	ex	
34	TOTAL	39

個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
1	石濱 壘	0	0			0
2	佐藤 陽太	0	0			0
4	可児 大輝	0	4			4
6	窪田 礼央	0	0			0
7	安平 光佑	5	3			8
8	清水 裕翔	2	2			4
9	吉田 守一	1	1			2
11	藤川 翔大	1	1			2
12	矢村 裕斗	0	0			0
14	山口 直輝	0	0			0
16	高木 アレキサンダー	0	0			0
17	朝野 翔一郎	0	1			1
20	石田 知輝	0	0			0
23	治田 大成	2	0			2
24	榎本 悠雅	0	2			2
25	蔦谷 大雅	2	7			9
TOTAL		13	21	0	0	34

戦況

藤川のカットインで先制した日本は、安平が7mTを決め、6分までに4-1と先手を取る上々の滑り出し。ここで一気にたたみかけたかったが、ゴールインかと思われた藤川、蔦谷のシュートがオフェンスファールになるなどで得点につながらず、13分までにアイスランドに4点を連取され、1点を追う展開となった。

このあとも長身GKを擁するアイスランドDFを崩し切れず、サイドハンドからのステップ、クイックなど、鋭いミドルを放つ相手に連続してゴールを許し、18分まで4-8と劣勢が続いた。ようやく19分に蔦谷の強打や治田のサイドで加点するが、DFが踏ん張れずに失点がかさみ、24分7-13と6点差まで水をあげられた。

それでも28分過ぎにGK石濱のファインセーブから清水の速攻で加点すると、吉田のポストや安平の2本の7mTを含む3得点で追走、13-16まで詰め寄る粘りを見せ、後半の反撃に望みをつないだ。

後半に入り、蔦谷のミドル、朝野の速攻で15-17と2点差に迫り、日本の反撃ムードが高まったかに見えた。しかし、このあと得点の取り合いの中、相手CPが4人になるパワープレーのチャンスがありながらも、アイスランドに追いつくことができない。

12分過ぎからサイド、ポスト、逆速攻で手痛い3連続失点を喫してしまう。蔦谷が気迫のミドルを連打するも、すぐさまアイスランドに2点を返され、15分には20-27とこの日最大の7点差をつけられてしまう。それでも2大会連続のベストエイト進出を狙う日本は、吉田のポスト、蔦谷のミドル、可児のサイドなどで加点、さらに安平、清水が続き、19分25-30と懸命に追走した。

終盤残り10分は両チームの壮絶な打ち合いとなり、藤川、可児、榎本で加点したが、捨て身のプレスDFを突破され、34-39と5点差をつけられての悔しい敗戦となった。

報告記入者 :

吉田耕平